

産業技術連携推進会議 知的基盤部会 地質地盤情報分科会
令和4年度講演会 「斜面災害低減に向けた地質地盤情報の利活用」

講演要旨

1. 「東京都における土砂災害対策と課題」

発表者：北川 淳一（東京都建設局 河川部 計画課）

要旨：近年、大型の台風や過去に経験のない記録的な大雨等の多発により、日本各地で大規模な土砂災害が発生し、多くの尊い人命が失われております。東京都の伊豆大島においても、平成25年に局地的集中豪雨により発生した土砂災害で、甚大な被害を受けました。こうした土砂災害から都民の生命を守るため、平成28年に「土砂災害による犠牲者ゼロを目指す」を基本理念に、土砂災害対策の考え方を取りまとめ、ハード対策・ソフト対策、自助努力への支援等の総合的な土砂災害対策を進めております。本講演では、東京都の土砂災害対策に関する取組や課題等について紹介します。

2. 「地質調査業界における斜面災害対応と課題」

発表者：上野 将司（全国地質調査業協会連合会）

要旨：土木構造物の建設・維持管理や災害対応について、地質調査業界では地質地盤リスク評価のための調査・検討に取り組んできました。その中で切土のり面や自然斜面の崩壊例を対象にして、地質情報の利活用について考察しました。課題として、地質情報が十分には利活用されていない実態があること、その原因として地質技術者の積極的な関与が少ないこと、一方では地質情報に関心を示す建設技術者の少ないことがあげられます。解決策として双方の技術者の協働が必要と考えています。これらの検討結果について紹介します。

3. 「国内における斜面災害の現状と最近の取組み」

発表者：瀧口 茂隆（国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部）

要旨：斜面災害をはじめとする土砂災害対策は、いつ、どこで発生するのかを予測することが重要です。このため、国土交通省では土砂災害発生時の都道府県による災害調査報告データを蓄積し、統計的手法を用いて土砂災害のリスクのある場所や時期の予測を行い、防災に活用しています。本公演会では、これまで蓄積してきた国内のがけ崩れデータの傾向をご説明するとともに、最近の取組みについてご紹介します。

4. 「斜面崩壊リスク評価のための地質情報整備 -地質調査総合センターの取組みについて-

発表者：川畑 大作（産業技術総合研究所 地質調査総合センター）

要旨：経済産業省でとりまとめられている知的基盤整備計画の中には、斜面災害リスク評価に資する地質情報の整備が含まれています。地質調査総合センター（GSJ）では、この計画に従い2022年度より本格的に斜面災害リスク評価に資する地質情報整備のプロジェクトが始まりました。GSJが整備している地質図をはじめ、衛星情報、地球物理学的情報など複数の情報から斜面崩壊について分析を行い、令和5年度には九州北部地域を対象に斜面災害リスク主題図を作成する予定です。本講演では、その計画の詳細について説明するとともに、いくつかの成果について紹介します。